

令和3年度 基本評価調書①		所管部局	水産 林務部	所管課	水産振興課	
施策名	海獣等による漁業被害対策の推進			施策 コード	07032	
政策体系 (中項目)	農林水産業の持続的な成長			政策体系 コード	2 (1) B	
知事公約	C0140	総合戦略	A32D2	国土強靱化	—	事務事業数 1
SDGs	14 海の豊かさを守ろう			総合判定	やや遅れている	

【1 Plan】

施策目標	トドやオットセイ等による漁業被害対策を総合的に推進し、被害の低減・防止を図る。					
現状と課題	海獣類による深刻な漁業被害が発生しており、被害防止対策を総合的に推進する必要がある。					
主な取組	海獣類（トド、オットセイ等）による漁業被害を軽減するための追い払いや採捕					
予算額 (千円)	R 3	3,009	R 2	3,328	R 1	3,903
施策の イメージ						

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	万円	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標 (R7)	達成率	指標判定
漁業生産額（漁業就業者1人当たり）（暦年）	目標値		1,121	1,143	1,166	1,324	81.7%	C
	実績値		1,001	1,122	953	—		
設定理由	北海道総合計画、北海道水産業・漁村振興推進計画に基づき、海獣等による漁業被害対策を推進することにより得られる施策の効果を把握する指標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
海獣による被害対策を推進しているものの、令和元年はそれを上回る記録的な不漁となり、秋サケ・サンマ・スルメイカといった主要魚種が不漁となったことなどから、「漁業生産額（漁業就業者1人あたり）」の目標値を達成できなかった。								

指標名②		R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値						
	実績値						
設定理由							
分析（主な取組と成果）							

指標名③		R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値						
	実績値						
設定理由							
分析（主な取組と成果）							

令和3年度 基本評価調書②	施策名	海獣等による漁業被害対策の推進	施策コード	07032
---------------	-----	-----------------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
	漁業生産額（漁業就業者1人当たり）（暦年）	1,001	1,122	953	1,166	C
目標（指標）の達成状況	漁業生産額（漁業就業者1人当たり）について目標に向けたさらなる取組が必要。				指標総合判定	C
連携状況	海獣被害対策について、関係振興局被害対策連絡会議の開催など、地域関係者と連携した取組の効果が確認できる。				連携判定	○
緊急性優先性	海獣被害対策について、関係振興局被害対策連絡会議を開催し地域関係者と連携し取り組んでいるほか、トド駆除など被害軽減対策による支援の拡充・強化及び被害に対する補償など新たな支援制度が創設されるよう、国に対して必要な要望を実施している。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	漁業者ハンターの育成、漁業者団体などと連携した駆除等の取組が着実に推進されているものの、継続してトド採捕率の高位安定が図られるよう、漁業被害の軽減に取り組む必要がある。				総合判定（一次評価）	やや遅れている

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	引き続き漁業者ハンターの育成や、漁業者団体などと連携した駆除等、トド採捕枠に基づく確実な採捕の実施を図り、漁業被害の軽減に取り組む。
	②	
	③	

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	—	対応状況 (R3.3時点)	—
R3年度二次政策評価			

【3 Action】

二次政策評価への対応	
R4施策の方向性	海獣による漁業被害の軽減に関する取組を促進するため、トド採捕枠に基づく確実な採捕の実施に向け、漁業者ハンターの育成に支援するとともに、効果的な対策の確立に向け、アウトセイによる漁業被害軽減手法等を検証するほか、国と連携しトドの採捕・管理に関する基本方針の見直しを進める。